

一般会計決算の状況

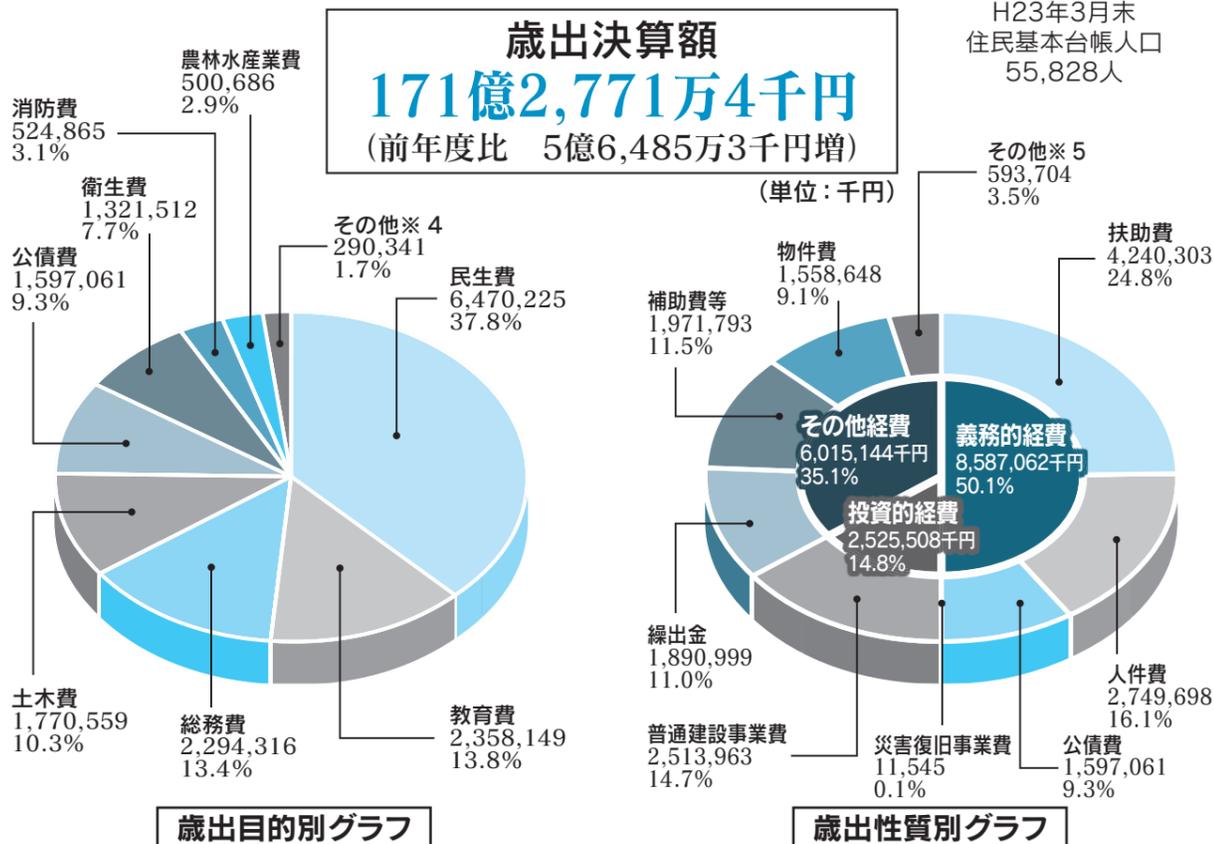
決算収支の状況は、歳入総額 181 億 440 万 7 千円、歳出総額は 171 億 2,771 万 4 千円となりました。

歳入から歳出を差し引いた 9 億 7,669 万 3 千円から、翌年度へ繰り越す事業の財源 1 億 4,544 万 5 千円を差し引いたものが実質収支額となります。平成 22 年度の実質収支額は 8 億 3,124 万 8 千円（前年度比 2 億 3,703 万 6 千円・39.9% 増）の黒字となりました。このうち 4 億 2 千万円を財政調整基金に積立てます。

市民の皆さん1人当たり
に使われたお金は、30万
6,794円になりました。



H23年3月末
住民基本台帳人口
55,828人



※4 その他の内訳

- 議会費 1 億 6,874 万 1 千円
- 商工費 1 億 525 万 9 千円
- 労働費 479 万 6 千円
- 災害復旧費 1,154 万 5 千円

※5 その他の内訳

- 積立金 4 億 7,019 万 2 千円
- 維持補修費 1 億 1,369 万 6 千円
- 投資及び出資金・貸付金 981 万 6 千円

特別会計の決算

『特別会計』とは、保険料など、税金以外の特定の収入がある会計をいいます。収入の使い道が決まっています。収支を明らかにするために一般会計とは別に分けているもので、平成 22 年度は 6 つの特別会計があります。

特別会計	歳入(A)	歳出(B)	翌年度へ繰り越すべき財源(C)	実質収支(A)-(B)-(C)
国民健康保険特別会計	53億8,836万2千円	52億7,592万7千円		1億1,243万5千円
老人保健特別会計	3,041万1千円	1,054万1千円		1,987万円
後期高齢者医療特別会計	4億3,495万3千円	4億3,358万7千円		136万6千円
介護保険特別会計	30億6,805万2千円	29億8,723万4千円		8,081万8千円
下水道特別会計	18億9,131万4千円	18億2,249万9千円	240万円	6,641万5千円
農業集落排水特別会計	8,489万5千円	8,109万5千円		380万円

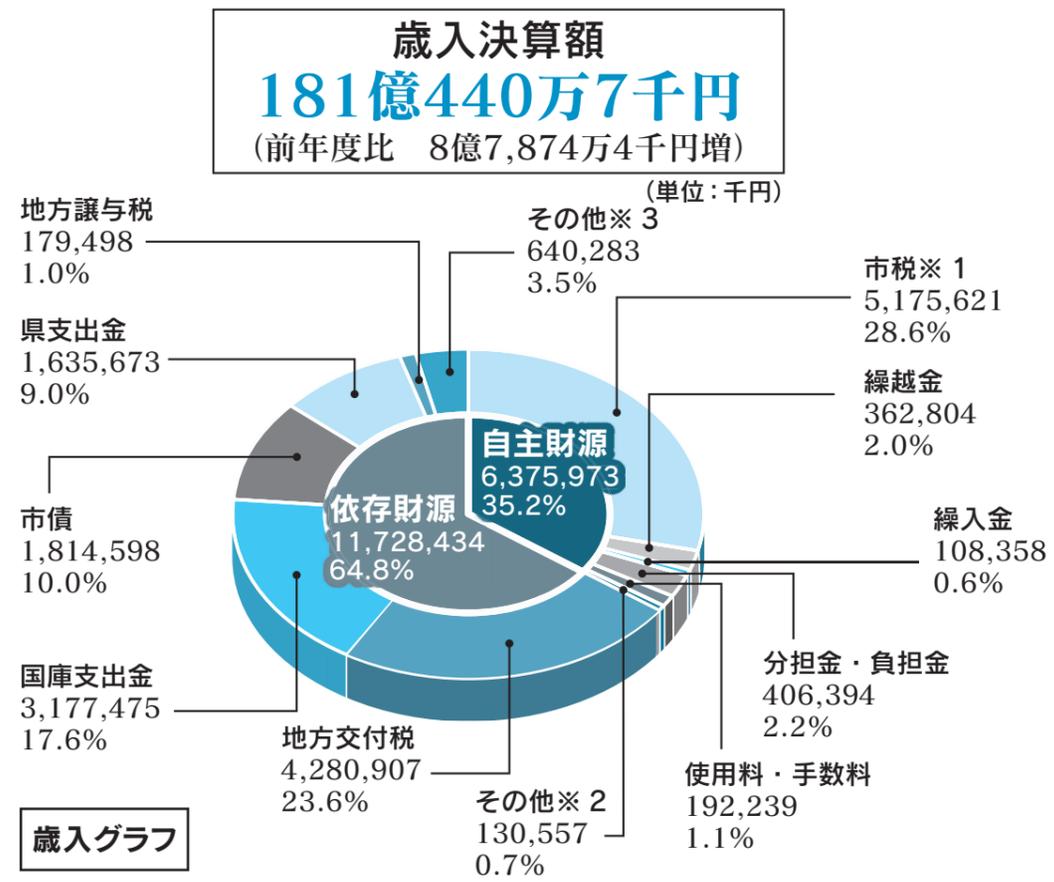
平成22年度決算

平成 22 年度の決算が、9 月市議会定例会で審議・認定されましたので、皆さんから納めていただいた税金や、国・県からの補助金などが、どのように使われたかお知らせします。

一般会計の歳入は、地方交付税と市債が増加し、歳出は、扶助費などの義務的経費と普通建設事業費の投資的経費が増加し、定額給付金の終了に伴い補助費が減少しています。

市の借金を指す市債は、臨時財政対策債が前年度に比べ増加したこともあり、市債残高は増加しています。貯金を指す基金は、適時積立てたことで増加となっています。

※この資料は平成22年度地方財政状況調査（決算統計）によるものです。



自主財源 市が自ら収入できるお金

依存財源 国、県などから交付されたり、割り当てられたりするお金

※1 市税の内訳

- 市民税 24 億 1,142 万 2 千円
- 固定資産税 24 億 923 万 7 千円
- たばこ税 2 億 4,962 万 6 千円
- 軽自動車税 1 億 533 万 6 千円

※3 その他（依存財源）の内訳

- 地方消費税交付金 4 億 5,276 万 5 千円
- 地方特例交付金 9,733 万円
- 自動車取得税交付金 3,031 万 8 千円
- 利子割交付金 2,231 万 8 千円
- 交通安全対策特別交付金 1,018 万 5 千円
- 国有提供施設等
- 所在市町村助成交付金 940 万 8 千円
- ゴルフ場利用税交付金 931 万 9 千円
- 配当割交付金 603 万 3 千円
- 株式譲渡所得割交付金 260 万 7 千円

※2 その他（自主財源）の内訳

- 諸収入 1 億 917 万 8 千円
- 財産収入 2,091 万 9 千円
- 寄附金 46 万円

各項目の計数は、表示単位未満を四捨五入したもので、内訳合計値と合致しない場合があります。

問い合わせ先 財政課（合志庁舎） ☎248-1667

納めた税金などは、
どんなふうに使われたの？